

[成果情報名] ペレニアルライグラス「ヤツユメ（系統名八ヶ岳T-24）」の品種特性

[要 約] ペレニアルライグラス「ヤツユメ」は、放牧利用に適した晩生品種であり
乾物収量に優れている。

[部 署] 山形農業総合研究センター畜産試験場草地環境部

[連絡先] TEL 0233-23-8817

[成果区分] 普

[キーワード] ペレニアルライグラス、ヤツユメ、放牧利用

[背景・ねらい]

育成指定場所（山梨県酪農試験場）において育成された放牧利用を目的としたペレニアルライグラスの越夏性及び耐病性に優れた新系統について、本県における適応を検討する。

[成果の内容・特徴]

ペレニアルライグラス「ヤツユメ」の特性は次のとおりである（表1～2）。

1. 放牧利用に適した晩生品種である。
2. 越冬性及越夏性について放牧利用型標準品種「ヤツユタカ」とほぼ同程度で、乾物収量は多い。

[成果の活用面・留意点]

1. ペレニアルライグラスの特徴として、経年化による基底被度の低下が早く生産性が低下するので、その場合は追播を検討する。
2. 本試験の耕種概要は以下のとおりである。

播種日・播種量		平成17年9月9日・散播200g/a		
		窒素	リン酸	カリ
施肥量 (kg/a)	基 肥	0.6	0.6	0.6
	追 肥 早春	0.6	0.3	0.6
	刈取回次毎	0.4	0.2	0.4

[具体的なデータ]

表1 生育調査

調査項目	発芽良否	定着時草勢	さび病*	早春草勢	越冬性	雪ぐされ病*	越夏性	秋の草勢	秋の被度
評価単位	1~9	1~9	1~9	1~9	1~9	1~9	1~9	1~9	%
ヤツユメ	7.3	6.5	2.3	6.5	6.2	3.4	5.9	6.5	45.8
ヤツユタカ (標準品種)	7.0	6.3	2.0	6.8	6.9	2.5	5.8	6.5	47.5

注) 極不良を1、極良を9の9段階評価

なお、*印のさび病、雪ぐされ病は極微を1、甚大を9とする9段階評価法

表2 乾物収量 (3カ年平均) (kg/a)

	春	夏	秋	合計
ヤツユメ	31.6	10.9	9.9	52.4
ヤツユタカ	27.2	10.5	7.0	44.7

注) 調査は、春(5,6月)2回、夏(7,8月)2回、秋(9,10月)2回の計6回刈りで行った。

[その他]

研究課題名：飼料作物系統適応性検定試験

予算区分：委託

研究期間：平成20年度(平成17~20年度)

研究担当者：石黒明裕、鈴木和仁、阿部巖